

省エネ住宅 3年連続受賞



「日本一の省エネ住宅を目指す」と意気込む
内池社長

全国的トップランナーの高い評価

注文住宅・リフォームの住まいのウチイケ(室蘭市八丁平、内池秀光代表取締役社長)は、省エネルギー性能の優れた住宅に贈られる「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」を3年連続で受賞した。一昨年から販売を開始したオリジナル規格住宅「U-BOX」は2年連続で同優秀賞に輝き、新たな客層の開拓に向け、販売態勢を強化する。(菅原啓)

販売態勢を強化へ

省エネ住宅のトップランナーを認定する同賞は、日本地域開発センターが毎年実施。「年間熱費ゼロ」を目指した同社の高気密・高断熱住宅「エコハウス・ゼロ」は、2014年から建設できるとあって、約2年で16棟を受注。当初は社内でも品質に賛否があったというが「プランニングがシンプルで分かりやすい。今まで契約を逃してきた層に浸透している」と手応え

3年連続で大賞に次ぐ特別優秀賞を受賞。標準仕様の「エコハウス」、U-BOX Xも優秀賞を受賞し、3年連続受賞に対する優秀企業賞も贈られた。

を口にする。

販売強化の一環で、苫小牧市内にU-BOX初の常設モデルハウスを着工。夏ごろ完成の予定で、不動産業者を通じたアピールも検討する。内池社長は「国も

省エネ住宅推進にかじを取り、追い風が吹いている。建築コストだけでなく、光熱費や環境性能など総合的に選んでもらえるよう力を

入れている」と自信を深めている。

省エネ性能と技術・手法普及の取り組みを総合的に評価する同賞は、広範囲に営業展開する大手メーカーが販売棟数で有利になる。内池社長は「性能ではトップの評価だけに悔しい」と普及率を課題に掲げる。

2年連続優秀賞のU-BOXは、同社初の規格住宅。コンパクトな27・5坪で3LDKの間取りを確保し、プランにより4LDKに拡充も可能。標準仕様のエコハウスが1500万円台で

建設できるとあって、約2

年で16棟を受注。当初は社

内でも品質に賛否があった

というが「プランニングが

シンプルで分かりやすい。

今まで契約を逃してきた層

に浸透している」と手応え